

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

【化学物質等の名称】	ファースト・バイオクリーナー
【会社名】	大一産業株式会社
住所	〒650-0022 神戸市中央区本町通 5-1-20
担当部門	環境衛生事業部
電話番号	078-361-7070
ファックス番号	078-361-1213
推奨用途及び使用上の制限	動植物油脂分解・脱臭等

## 2. 危険有害性の要約

【GHS分類】	
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分外 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分外 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分2 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素  
シンボル

注意喚起語  
危険有害性情報



危険  
H302 飲み込むと有害  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H401 水生生物に毒性

## 【注意書き】

安全対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 環境への放出を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
救急措置	吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で優しく洗うこと。 眼に入った場合、直ちに清水で15分以上洗浄し、医師に連絡すること。 飲み込んだ場合、水で口をすすぐこと。 いずれも、症状がある場合は医師の診察を受けること。
保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
微生物(バクテリア)培養物	非公開	—	対象外		な
エトキシ化アルコール (C12-C15)	以下と合算	—	(7)-97		68131-39-5
ラウレス硫酸ナトリウム	5~10%	—	(7)-155		9004-82-4

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

改正前(2009年9月30日まで)				改正後(2009年10月1日より)			
物質名	該当法規区分	政令番号	含有率	物質名	該当法規区分	政令番号	含有率
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	第一種	307	—	変更なし	第一種	407	—
非該当	—	—	—	ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	第一種	409	—

第一種 第一種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

#### 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。  
意識のある場合は、水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水を飲ませる。  
直ちに医師に連絡すること。  
被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤

#### 特有の危険有害性

火災によって毒性のガス(CO、CO2)を発生する恐れがある。

#### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣等を着用し、風上より消火を行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護  
具および緊急措置

関係者以外の立入りを禁止する。  
風上に留まる。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参  
照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

低地から離れる。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和

物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃  
棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材

除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用す  
る。

局所排気・全体換気  
安全取扱い注意事項

局所排気、全体換気を行う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

### 【保管】

混触危険物質  
保管条件  
容器包装材料

『10. 安定性及び反応性』を参照。

直射日光を避け、鍵のかかる冷乾所に密封し保管する。

情報なし

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 【設備対策】

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置す  
ること。

局所排気装置を設置する。

### 【保護具】

呼吸器の保護具  
手の保護具

通常は必要ない。

適切な保護手袋を着用すること。

ニトリル(NBR)製保護手袋

眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

### 【衛生対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 【物理的状态】

形状

液体

色

褐色

臭い

微臭

pH

8.1~9.0

沸点、初留点及び沸騰範囲

100℃

引火点

データなし

蒸気圧

水と同等

蒸気密度

水と同等

比重(密度)	約 1.0
溶解性	水に完全に溶解する
オクタノール／水分配係数	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	推奨の保管条件下で安定である。
危険有害反応可能性	重合反応の危険性はない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸、強塩基は微生物培養物を不活性化する。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫酸酸化物。

## 11. 有害性情報

### 【急性毒性】

経口	急性毒性(経口) ー区分 4 とした。
皮膚腐食性／刺激性	皮膚腐食性／刺激性 ー区分外とした。 長時間の接触により、皮膚に刺激を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 ー区分外とした。 眼に刺激を起こす可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性 ー区分 1 とした。 皮膚感作性 ー区分 1 とした。
生殖細胞変異原性	情報なし。
有害性その他	ミストを吸入すると、呼吸器に刺激を起こす可能性がある。 飲み込むと、腹痛、吐き気、嘔吐を引き起こす可能性がある。 呼吸器系に疾患がある人や酸素に敏感な人は、本製品から発生するミストを吸わないようにするべきである。 皮膚疾患のある人は防護措置なしに本製品への接触を避けるべきである。

## 12. 環境影響情報

### 【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性	水生環境急性有害性 ー区分 2 とした。
-----------	----------------------

### 【生態毒性】

魚毒性／その他	情報なし
---------	------

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	処理等を外部の業者に委託する場合は、関係法令を順守し、都道府県の認可を受けた処理業者に危険性・有害性を十分告知の上、処理を依頼する。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 【国際規制】

海上規制情報	該当しない
UN No	該当しない
Marine Pollutant	Not Applicable
航空規制情報	該当しない
UN No	該当しない

### 【国内規制】

陸上規制情報	該当しない
--------	-------

海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
【特別安全対策】	容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒、落下・破損の無いように積込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
15. 適用法令	
消防法	非危険物
化学物質排出把握管理促進法 PRTR 法)	(第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1))
化学物質排出把握管理促進法 改正 PRTR 法)	(第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1))
16. その他の情報	
連絡先	「1. 化学物質及び会社情報」の項に記載。
参考文献	Novozymes Biologicals Inc.(アメリカ)MSDS(2007.7.3) ノボザイムズ バイオロジカルズ ジャパン株式会社 MSDS(2006.11.15) 日本ケミカルデータベース株式会社 法規制データ(ezCRIC) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理情報 本 MSDS は、日本ケミカルデータベース社の提供する「MSDS 作成支援システム GHS Logist」により作成しており、主要な情報は当システム内のデータに基づいています。
その他	<記載内容の取扱> 記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。